



主要な農作物の生育情報

令和3年度 第9号

(令和3年12月10日)

福島県農林水産部農業振興課



【土地利用型作物】

1 大豆

収穫は、11月末までに約8割が終了しています。収量は、平年並からやや多いと見込まれています。

2 小麦

播種は、11月末までに約9割が終了しています。出芽と初期生育は、概ね良好です。

【野菜】

1 秋冬にら

2年株は2番刈り中で、1年株は11月下旬から収穫を開始しています。

病害虫の発生は、特にありません。

2 いちご

促成栽培の普通育苗では、頂果房は11月中旬から収穫しており、第1次腋果房は肥大期となっています。

病害虫は、一部のほ場で炭疽病、萎黄病が発生しています。

3 秋冬ねぎ

収穫は、平年並の11月上旬から始まり、約2割の進捗です。

病害虫は、一部のほ場でさび病が発生しています。

【果樹】（農業総合センター果樹研究所）

1 りんご

(1) 「ふじ」の収穫期と果実品質

「ふじ」の収穫盛日は11月15日で平年より2日早く、生育日数は210日で平年より9日長くなりました。

収穫期における果実品質は、果実重が346g、糖度(° Brix)が15.4でともに平年並でした。また、蜜入指数は1.6でした。

果実硬度は、満開後140日ごろ以降は平年より低めに推移し、収穫期には11.01bsとなりました。デンプン指数は、満開後140日ごろ以降は平年より低く推移し、満開後199日以降には指数5程度で推移しました。また、果皮中のクロロフィル含量は平年より高く推移し、アントシアニン含量は平年より低く推移しました。

(2) 花芽分化率

花芽分化率(12月1日採取)は、「つがる」が85.8%で平年よりやや高く、「ふじ」が60.4%で平年より低くなっています。また、両品種とも一部の頂芽に褐変が見られました。

2 なし

(1) 花芽分化率

花芽分化率(11月30日調査)は、「幸水」が81.6%、「豊水」が83.1%でともに平年より高くなっています。

【花き】

1 ストック

年内出荷の作型は、開花は平年より2週間～3週間早まっており、出荷終盤を迎えています。

病害虫は、コナガが散見されています。

2 シクラメン

出荷は、平年並の11月下旬～12月上旬に盛期となり、現在は終盤を迎えています。
目立った病害虫の発生は見られません。

3 枝物

ユキヤナギは、11月末から促成を行っており、出荷は平年並の12月中旬から始まる見込みです。
サクラは、12月初めから促成を行っており、出荷は平年並の12月下旬から始まる見込みです。
目立った病害虫の発生は見られません。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>